

湊川新聞

兵庫県立
湊川高等学校
発行

ああ、勘違い勘違い

学校長 小池 孝



「？1」男は
「神が土から
人（男）を造

り、その肋骨から女を造った」とあり
ますが、そのイメージは今も根強
く残る思い込みにつながっているか
もしれません。ところが人の基本形
は女です。太古は女だけだったとい
う説もあり、現に胎児は7週目まで
は全員女性仕様です。太ももの間に
割れ目があり、そこに穴（管）が二
つ。M（ミューラー）管が子宮と卵管
を、W（ウォルフ）管は尿路と膀胱
の原形をつくります。さて、男。M
管は消え、割れ目は縫い合わされま
す。縫い合わせ後半で両側の海綿組
織を寄せあわせて突き出した形を作り
底面近くには（尿と精子の）通路（管）
を備え、通路の根元にW管出口がっ

ながります。W管の奥側は膀胱の原
形をつくった後も伸びながらUター
ンして下方へ。そこへ、M管の上方

で二つの卵巣になる予定だった原始
生殖細胞がおりてきて精子を作る精
巣になり、二つにわかれて縫い目の
両側にぶら下がります。男の管はW
管一本だけになり、縫い合わせの痕
跡がはつきり残っています。「女には
すべてが備わり無理がない。男は無
理して作りかえたことで急場しのぎ
の不細工な仕上がりが残っている」
と言う学者もいます。なるほど、絵
画や彫刻で裸婦が美の象徴になるは
ずです。「元始、女性は実に太陽であ
った（平塚らいてう）」そう、太陽で
す。

？2 「日本の伝統を取り戻し…」
最近「家族の絆が失われ家庭の教育
力低下」「3世代の大家族は昔はどこ
でも見られた」「複数世代が同居、知
恵や道徳を継承した日本のよき姿
が…と耳にします。イメージは「サ
ザエさん」？ そこで、研究機関や
研究者のデータ・意見を拾い上げる

と、家庭教育も家族の絆も近年の方
が明らかに高い。一方、約100年前の
3世代家族は3割程度、離婚率・再
婚率は共に今より高く、約50年前ま
での女性就労率は欧米諸国より高い
等々。言われるイメージとは真逆の
姿が浮かびます。思い込みでなく、
歴史を正しく見つめたいものです。

？3 「多数決が民主主義」ドイ
ツは基本法（憲法）改正に国民投票
を実施しません。理由の一つに「集
団となつて熱狂している自分を信用
していない」があるそうです。歴史
に習い、直視し、集団に埋没しない
事の重要性が響いてきます。少数で
も大切にすべきは大切に、数は正し
さの基準では無い：：でしょうか。

？4 「見た！聞いた！こう言っ
た！…」 記憶は作られます。人は
ありのままに見て聞くことができま
せん。好き嫌いや思い込みが働き、
何かを強調、無視、美化、悪意に解
釈等々。自分の思いに合わせて脳に
取り込み、引き出す時にさらに都合
よく組み立て直してしまうのが記憶。
記録ではないのです。無意識下なの
で自分では分ならず、まして自信
満々だと自分だけを信じて疑わない
ので一層やっかい。集団になると手
に負えません。納得できない、分か
つてくれない、腹が立つ：：実は、正

しく見えていない聞けていない独り
相撲なのかも。肩の力を抜いて壁を
つくらず受け止めてみましょう。コ
ツは「自分を疑うこと」と「顔のし
わ」。縦じわは流し落としてしまいま
す。横じわで、受け、留めましょう。

切り捨て・排除が進む世の中です。
少数派を知る湊川高校の皆さんには
大事な時に声を出し続ける使命があ
ります。プライドは高く、肩の力は
抜いて、正しく見て聞いて、そして
考えて、大声では無く静かに、でも
きちんと意思を示し、少数派も尊重
する世の中を守って欲しいと思いま
す。



（第69回卒業証書授与式）





(第69回卒業証書授与式)

学年だより

1年

やればできる

やればできる (その1)

学年末考査の後、一人の生徒が「先生、理科の点数どうやった?」と聞きにきました。その生徒の今までの理科のテストは最高でも20点台。得点が一ケタのこともありました。しかし最後の学年末考査では何と94点!好成绩だったことを告げると、その生徒は嬉しそうに、でも少し恥ずかしそうに言いました。「だ

って、勉強したもんっ!」

今まで点数が悪かったのは勉強をしなかったから。勉強しなければ点数が悪いのは当たり前。本気になつてちゃんと勉強しよう。そう思った気持ちがとても大切。さらにその考えを実行する行動力。その生徒にとつては、きつと勉強するのはしんどかったと思います。でも勉強することで、その楽しさを知り自信を得たのではないのでしょうか。やればできるのです!あなたも頑張ってみませんか。

やればできる (その2)

二月の卒業式。厳肅な雰囲気の中で、卒業生を送り出してあげなければと思っていました。その一方で、式が始まる前、私は不安で仕方ありませんでした。それは、いつも集会の時にはスマホやおしゃべり、トイレなど何度も注意を受ける君達一年生が、長時間の式に耐えられるのだろうか?卒業式の雰囲気壊してしまうのではないだろうか?という心配でした。卒業式で先輩方に恥をかかせるわけにはいきません。

幸いにも私の不安は的中しませんでした。一時間半の間、君達はスマホを触ることもなく、トイレにも一人が短時間行っただけ。最後までしつかりとした態度で参列していま

した。君達のことをもっと信用しなければならぬと反省しました。一年生一人ひとりが意識を高く持つことで、湊川の在校生として立派に卒業生を送り出すことができたのです。やればできるのです!厳肅な中にも心温まる素晴らしい卒業式でした。先輩方のように価値ある卒業を迎えられるように、今後の学校生活を過ごしてほしいと思います。

2年

3年生が目の前に

月日がたつのは早いもので、来月皆さんは3年生になります。皆さんにとつて、この2年間はあつという間だったでしょうか。それとも、とても長く感じたでしょうか。

68名でスタートした71回生ですが、3年生への進級を目の前にした現在、在籍しているのは45名となりました。入学した71回生のうち、約66%の人たちが現在、卒業に向けて努力しています。毎日学校に来ることとはしんどいし、簡単な事ではありません。ですが、入学時の気持ちをもう一度思い出し、あと少しがんばりましょう。

特に来年度、皆さんにがんばって

ほしいことは「遅刻・欠席数を減らすこと」です。前回の湊川新聞にも少し書きましたが、来年度は皆さんの進路を決めていかなければいけない1年です。進みたい進路や進学したい学校が見つかった時、「欠席数が多いから、採用することができない。」や、「遅刻ばかりしているので、合格は認められない。」と言われることがないように、毎日できるかぎり学校に登校できるようにしましょう。

3年で卒業を目指している皆さんは、遠足や体育祭、文化祭などが楽しめるのも、来年度が最後です。皆で楽しく、悔いのない高校生活を送りたいですね。



(1・17防災ボランティア)



3年

3学期

3年生のみなさん。第3学年もいよいよ終わりを迎えようとしていきます。ちょうど一か月前の2月23日、共に3年間学んできた20名がこの湊川高校を巣立っていきました。私は教師になり、担任として初めて卒業生を送り出すので、どんな気持ちになるだろうかと思いましたが、実際にはすっきりした気持ちとやはり少し寂しいような気持ちが混ざったような感じでした。そのような中で、卒業式後の最後のHRの最中に、ふと4年生に進級する人たちの顔が思い浮かびました。なぜなら来年はあの子たちも卒業していくのだろうかと、楽しみな気持ちもありながら少し寂しいなと思ったからです。私がお来年度も担任かどうかはこれからのお楽しみではありますが、進級する8名には最後の1年でできるだけいろいろなことを教えてあげたいと思っていました。一般的には高校は3年間で卒業を迎えますが、進級する人たちは4年間も高校で学べるといこうとは本当にラッキーだと思います。ポジティブにとらえましょう。社会に出る前に今しかできないことに力を

を注ぎ、さらに学び、さらに人として成長し、社会に出るための準備をしつかりとし、来年卒業を迎えられるように頑張りましょう。この湊川高校での最後の1年を充実したものにしたいと思えます。



(地域の人材に学ぶ
・南京玉すだれと皿回し)

4年

新しい歩みを

はじめる頃のときまじ

なお、寒さがある頃に梅の花が咲

き始めます。私たちは、あ、あ、寒いと重ね着をし、外出よりも家の中に引きこもろうとする時です。目の前のことに追われ、奪われてしまいます。梅は葉っぱをすべて落としつくし、ただそこに棒きれが刺さったままのようでした。余分なものはそぎ、この秋と冬の長い時間を巧みに使って、栄養を蓄えるだけ蓄えて、見た目は只(ただ)の木偶(でく)の坊(ぼう)で過ごすのです。

私たちは木々の落葉や紅葉の色鮮やかな美しさに目を奪われます。生い茂った葉っぱを振り落とし、次に備える大切な儀式です。そして、何ももの身にまとわずに素朴にただ立ち尽くします。木々の中はただ静寂です。時には寒々さを感じます。

卒業、進級、留年、進学、就職、引越越し：「新しい世界」を迎えるために、私たちは、自分の身にまとったものをすべてそぎ落とす勇気が……。『これまでは』をあえて捨て去り、知らない世界が目の前に迫ってくる、恐ろしくて震える素の自分を見いだすことはできるだろうか。幼子をはじめ、人は、日々精一杯そこに生きています。とまどい、悩み、ひとりぼっちを感じつつ、そこにあり(いる)。それでもいいじゃないですか。大丈夫！ 桜の祝福がありま

す。健康であり、安全であり、安心であり、こころ豊かでありますように。



(卒業生を送る会・ボーリング大会)

保健室だより

健康のキホンは、よく食べ、よく眠り、適度に動くことです。自分の生活を思い返してみてください。三食、きっちり食べていましたか。夜、遅くまで起きていませんか。夜、運動不足や、運動のし過ぎになつていませんかでしたか。

春の雨は、春雨。「ハルサメ」です。春に降る、静かでこまやかな雨です。草花や作物に命を与える優し





(同窓会入会式)

い雨です。ひと雨ごとに伸び伸びと成長する草花のようにみなさんがお互いの優しさの中でぐんぐん育ってほしいと思います。

春休みは、新しい学年になる前の区切りのときです。

いろいろな物を掃除してはどうですか。部屋のいらぬものを片付けたり、着なくなった服を廃品回収に出したり、かばんの中のを一度出して整理したりして、身のまわりをきれいにしてみませんか。

友達とのわだかまりがある人は、思いきってここでリセット。

チャンスです。

『「めんなさい。」と勇気を出して・・・。スツキリして新しい学年を笑顔でむかえましょう。』

給食だより

野菜をもっと知っと

朝晩はまだ冷え込みますが、昼間は寒さが和らいできましたね。春になると、美味しい旬の野菜がたくさん出回ります。例えば、春キャベツ、レタス、新玉葱、菜の花などがあります。春や新とついている野菜は通常のものより、甘みがあります。春が楽しみです。

しかし残念なことに、給食では残菜に野菜が多くみられます。そして、野菜は食べたくない、苦手という声も多いです。そこで、もっと野菜自身に興味を持ってほしいので、よく使われる野菜から一部紹介します。

●キャベツ：キャベツと一口に言っても、「寒玉(かんだま)」「春系」「夏秋(かしゅう)」の3つに分けられます。春系はいわゆる春キャベツのことでやわらかく甘みが強いのです。春キャベツ、是非食べてみて下さい。

●レタス：たいいていの野菜は

ずっしりした重いものがよいとされていますが、レタスは軽いものが美味しいです。それは、重いものは育ちすぎて葉が硬くなって歯切れが悪い場合が多いからです。レタスを選ぶときは注意して下さいね。

●玉葱：春は新玉葱が出回ります。実はいつも食べているのは葉の部分です。(知っていましたか?) 兵庫県では淡路島が名産地です。

普段食べている野菜でも、意外と野菜について初めて知ったことがあったのではないのでしょうか。これを機に、まずは一口食べてみて下さいね!

編集後記

感動的な卒業式から1か月がたち、3学期の終業式を迎えます。3月には「春」「桜」「旅立ち」などをテーマにした歌や曲に出会います。

皆さんもきくと、大好きな歌や歌詞があると思います。そして、そこから大きな「力」をもらっていると思います。私にも好きな歌詞があります。例えば、「スピッツ」の「チェリー」という曲の中の、「愛してるの響きだけで強くなれる気がしたよ」

という言葉。例えば、「いきものがかり」の「YELL」という曲の中の、「サヨナラは悲しい言葉じゃないそれぞれの夢へと僕らを繋ぐYELL」という言葉。例えば、「何々」。例えば、「何々」と、いっぱい出てきます。改めて言葉の力を感ずります。皆さんも、大好きな歌や歌詞に、「力」をもらっていることがあるのではないかと思います。さて、皆さん自身の言葉も人を感動させたり、勇気づけたりしているということ考えてみませんか。言葉を大事にしませんか。



(第69回卒業証書授与式)

